

## 事務事業評価表（内部管理事務等）

1次評価日（主幹等） 31年3月31日

2次評価日（課長等） 31年3月31日

1 事業名	岡谷駅前整備事業			コード	132101
2 担当部課	部等	企画政策部	課等	企画課	作成者 味澤 勝一
3 事業概要	目的体系	基本目標	快適に生活できる、都市機能の充実したまち		
		政策	計画的土地利用の推進	施策	まちの活力を高める市街地整備
		予算科目	企画事務費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	都市再開発法、区分所有法、マンション建て替え円滑化法		

## ●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	駅前地区の活性化に向けて、キーテナントが撤退してから大半が空きフロアとなり、建物の老朽化が課題となっている駅前再開発ビル（ララオカヤ）の再整備に向けた検討を進める。		
目的	対象者	市民及び駅周辺地区利用者	
	意図	中心市街地の活性化、賑わいの創出	

5 事業の実施内容	*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
○再整備事業	平成27年度～平成28年度（2カ年）に実施した岡谷駅前地区再整備に関する調査結果に基づき、市街地再開発による事業化は困難な状況と判断し、平成29年度にはララ管理組合の理事会及び総会へ調査結果の報告をした上で、ララオカヤの今後について権利者の個別ヒアリングを実施した。 権利者ヒアリングの結果を踏まえ、平成30年度のララ管理組合総会及び理事会でララオカヤの今後について意見交換を行なうとともに、全権利者に対し再度聞き取り調査を実施するなど地元の意向把握に努めた。又、必要に応じ長野県や国の担当者から助言を得ながら庁内会議等にて今後の方針について協議した。		
前年度の課題への対応	ララオカヤの今後について、管理組合総会や理事会で意見交換を重ねるとともに、あらためて全権利者に対し聞き取り調査を実施し、必要に応じ長野県や国の担当者から助言を得ながら検討を進めた。 引き続き民間事業者の動きに注視しながら情報収集等に努めた。		

6 ア) コストの推移	*この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）				[単位：円]
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 直接事業費	6,176,000	20,000	20,000	20,000	
経常経費	20,000	20,000	20,000	20,000	
臨時的経費	6,156,000	0	0	0	
* 臨時的経費の説明					
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30	
③ 合計コスト(①+②)	8,576,000	2,420,000	2,420,000	2,420,000	
前年度比		28.2%	100.0%	100.0%	
財源内訳					
一般財源	7,617,000	2,420,000	2,420,000	2,420,000	
特定財源	959,000	0	0	0	
* 特定財源の説明					
④ コストに関する補足説明	駅前地区のあり方を様々な角度から総合的に検討する。				

イ) 負担金、補助金、交付金の状況

[単位：件、円、%]

負担金補助金		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

●改善の内容 (ACTION)

7 具体的な課題と改善

課題	<p>(事務を正確に実施し、少ない費用で効率的に事業を行う上で、現在課題になっていること)</p> <p>ララオカヤの老朽化は顕著で維持費も膨大であることから、今後の対応について、ララオカヤ管理組合における合意形成を図るとともに庁内での方針決定を早急に行う必要がある。</p>
	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>今後の対応について、ララオカヤ管理組合における合意形成を図り方向付けをしていく。方向付けがされたら早期に着手していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早期に着手することで維持管理を削減する。</li> <li>・長野県や国など関係機関の担当者と協議しながら進める。</li> <li>・有効な補助制度等の導入について検討を行う。</li> <li>・引き続き民間事業者の動きに注視し、必要により折衝する。</li> <li>・将来的にも持続可能な駅周辺機能整備の実現に向けて検討を続ける。</li> </ul>
改善方法	
改善開始時期	平成31年4月から

●次年度の計画 (PLAN)

8 次年度の方針	継続して実施	9 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	A
----------	--------	--	---